

システムの一元化で、二重管理を廃止！

基幹系
システム

データ連携

申請事業者：株式会社宮崎科学（延岡市）
業種：卸売業

従業員数：7名
設立：1976年

販売管理システムの導入で、リアルタイムでの在庫数量の把握を可能に

取組の概要

導入部門：事務部門・営業部門

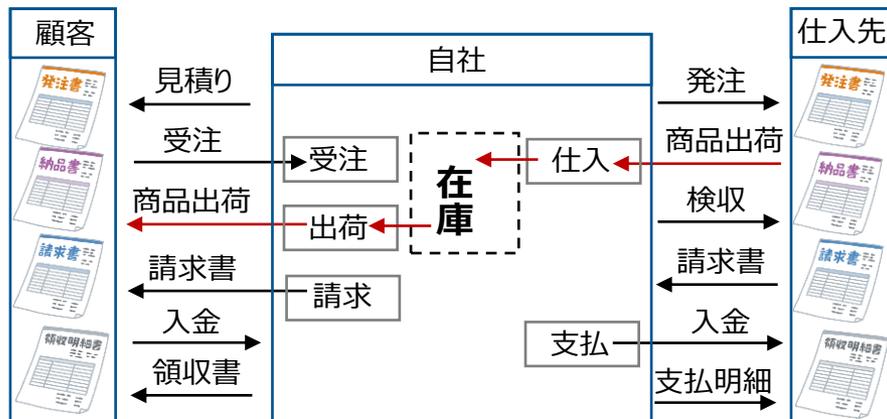
導入業務：販売管理(見積、受注、出荷、売上、請求、入金)業務

導入目的：業務データの連携による業務効率化及びテレワーク推進

導入技術：クラウド型販売管理システム「NextNavinity」

導入手法：業務ごとに別々に管理していたシステムを統合することで、二重管理を廃止。全てのデータを連携させることで、リアルタイムでの売上データや在庫数量の把握を可能にする。

導入費用：¥3,980千円（税抜）



取組の背景

●抱えていた問題点

- ①売上管理と仕入管理で別々のシステムを使用しているため、データを入力するタイミングを考慮しなければならず、非効率であった。
- ②見積書は個人でExcelにて作成しており、社内での共有ができていないため、過去データの検索に時間を要していた。
- ③在庫管理は手書きやExcelにて行っているため、リアルタイムでの在庫を把握できていない。

●解決に向けた課題設定等

- ①②③業務ごとに別々に管理している各システムを統合し、二重管理を廃止。履歴や過去データの検索も容易に。

取組の成果

- 販売管理にかかる時間を、50%削減
売上データと仕入データを入力する時間 6時間/日 → 3時間/日
- 見積作成にかかる時間を、30%削減
過去の見積データを検索する時間 1時間/日 → 0.7時間/日
- 在庫管理にかかる時間を、50%削減
在庫数量を入力する時間 2日/月 → 1日/月

※クラウド型のシステムの導入により、テレワーク推進にもつながっている。